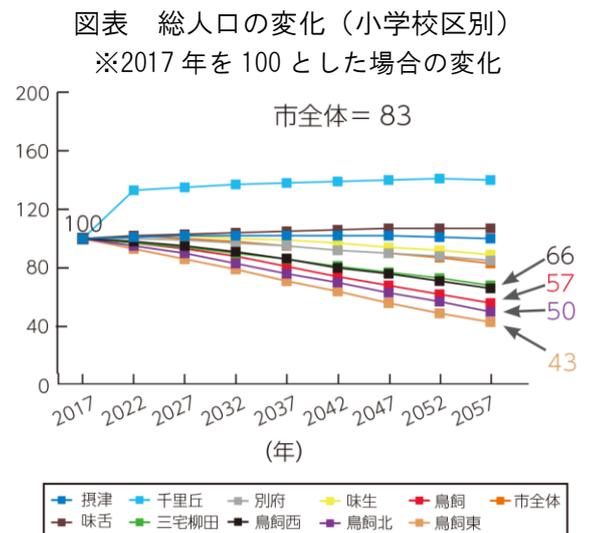
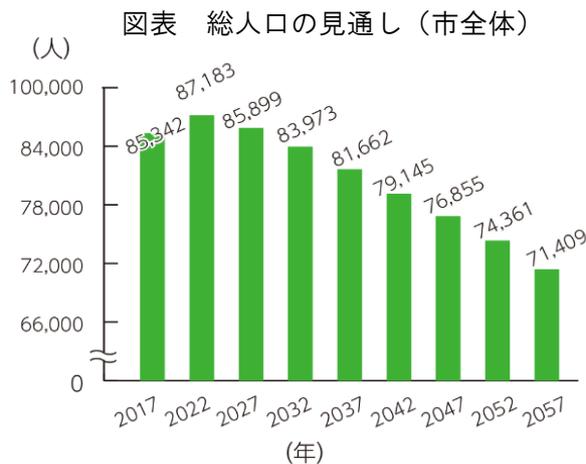


鳥飼地域の現況

(1) 人口・将来人口推計

① 将来人口の見通し

市の総人口は、2022年の8万7千人をピークに減少傾向に入り、2042年には8万人を下回り、2057年には7万1千人まで減少すると想定されています。小学校区別で見ると、2017年から2057年にかけて、鳥飼地域(鳥飼、鳥飼西、鳥飼北、鳥飼東)の人口が大きく減少していることがわかります。およそ鳥飼が4割、鳥飼西が3割、鳥飼北が5割、鳥飼東が6割減少すると見込まれています。

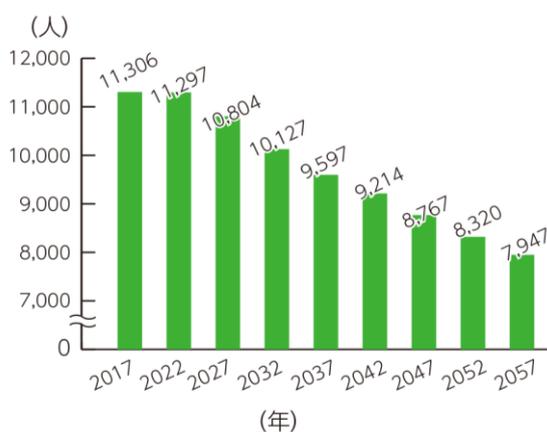
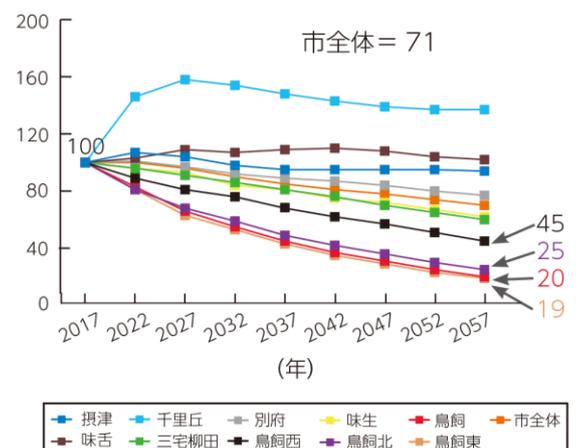


② 年少人口

市域全体として減少傾向にありますが、小学校区別で見ると、特に鳥飼地域(鳥飼、鳥飼西、鳥飼北、鳥飼東)の減少率が高く、子どもの人口が少なくなることを表しています。

2017年から2057年にかけて、およそ鳥飼が8割、鳥飼西が5割、鳥飼北が7割、鳥飼東が8割減少すると見込まれています。

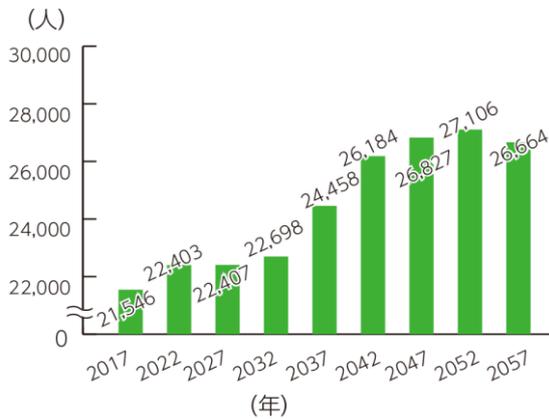
図表 年少人口(0~14歳)の見通し(市全体)

図表 年少人口(0~14歳)の変化(小学校区別)
※2017年を100とした場合の変化

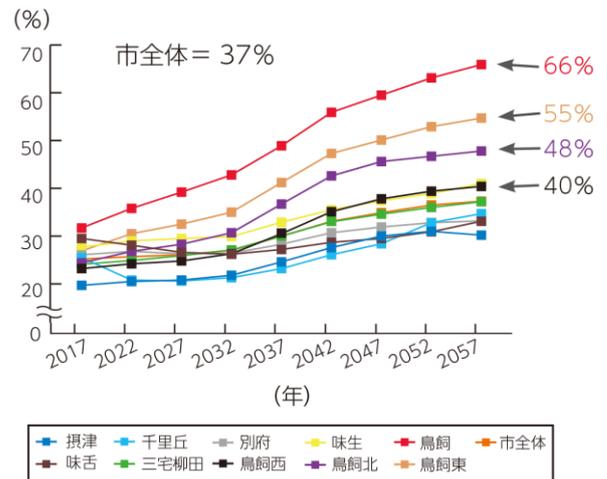
③ 高齢化率

高齢化率は、鳥飼地域(鳥飼、鳥飼西、鳥飼北、鳥飼東)の小学校区の高齢化率が2052年時点で全市の高齢化率を上回ると想定されています。特に、鳥飼、鳥飼東小学校区の高齢化率は50%を超え、極めて高い水準になると考えられています。※高齢化率=高齢者人口(65歳以上)の比率

図表 高齢者人口(65歳以上)の見通し(市全体)



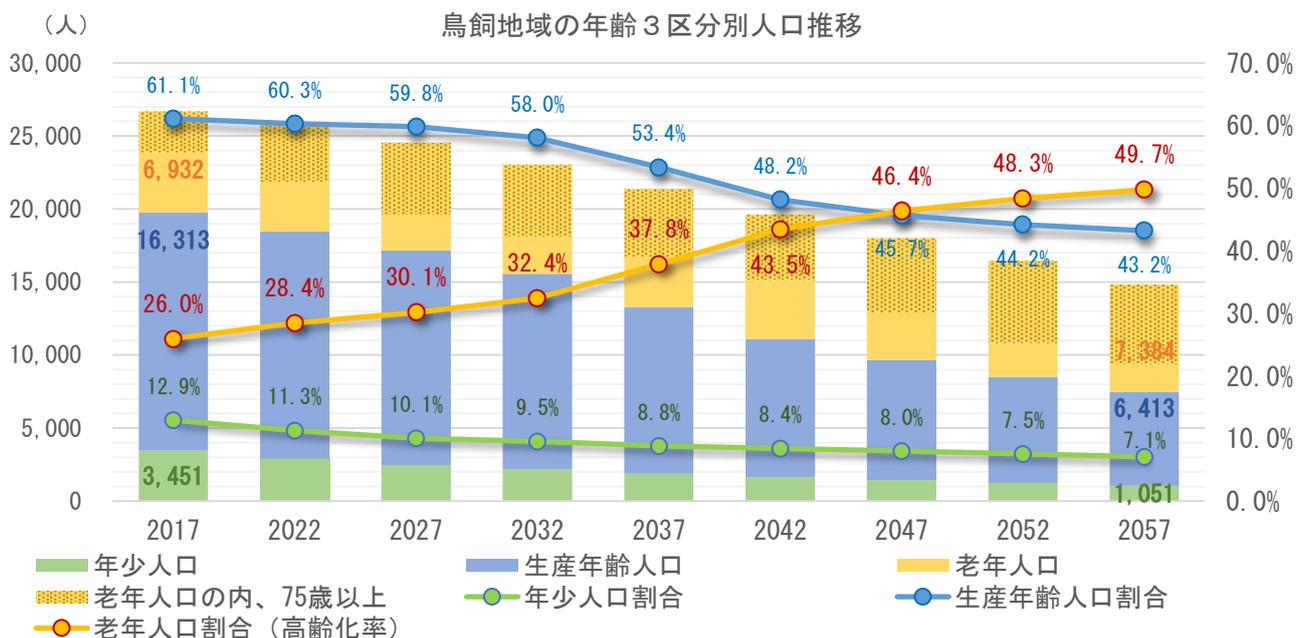
図表 高齢化率の見通し(小学校区別)



④ 鳥飼地域の年齢3区分別人口推計

鳥飼地域の人口を年少人口(0~14歳)・生産年齢人口(15~64歳)・老年人口(65歳以上)の3区分で見た場合、年少人口と生産年齢人口は、2057年には2017年と比べて約7割減少すると推計されています。

一方、老年人口はほぼ横ばいに推移するものの、年少人口、生産年齢人口共に減少する結果、2057年の鳥飼地域の老年人口割合(高齢化率)は約50%となり、極めて高い水準になると推計されています。

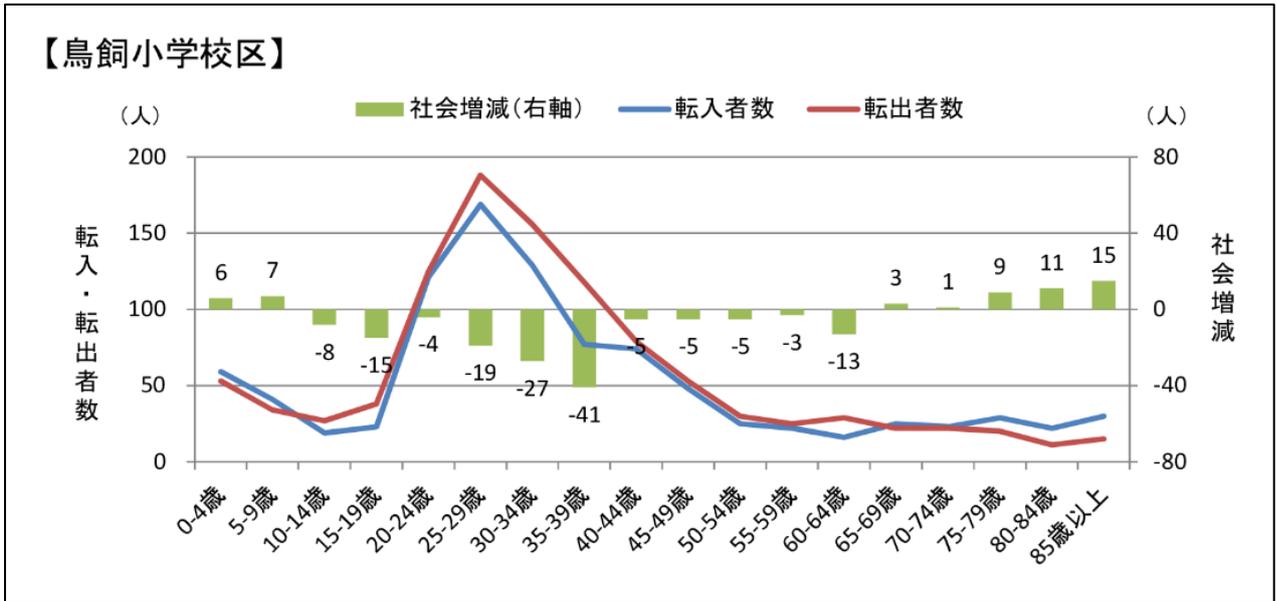


⑤社会増減

鳥飼地域の小学校区ごとにおける社会増減(転入・転出による人口の増減のこと。データは2013～2017年の5年間。)は、20歳代から30歳代の転出超過が目立つ状況となっています。

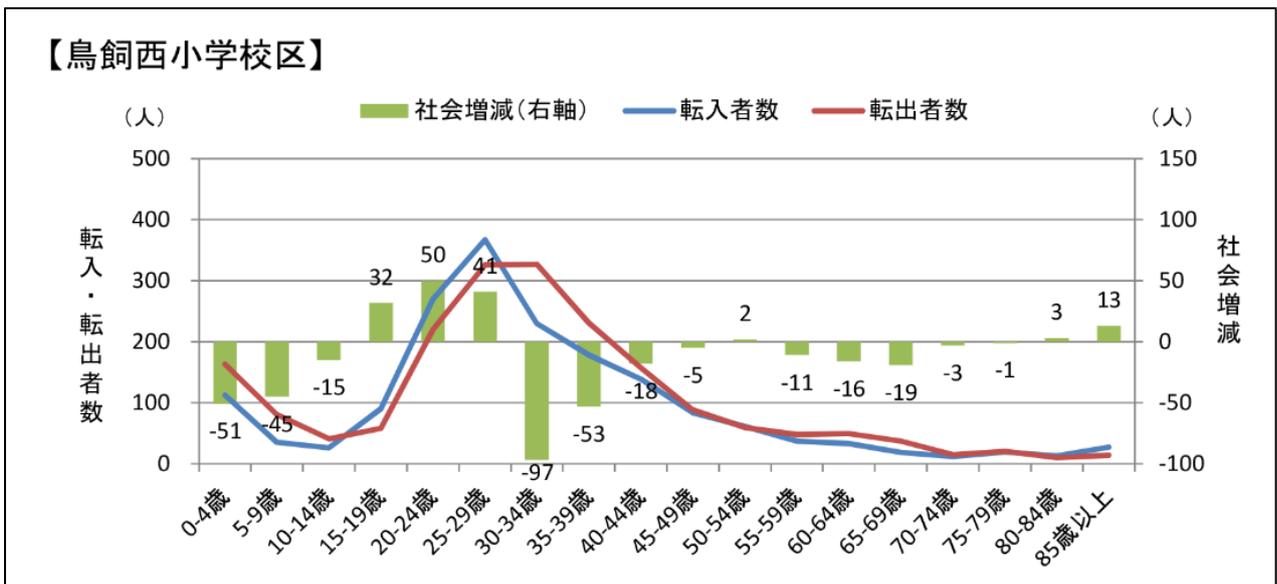
■鳥飼小学校区

10～64歳にかけて転出超過であり、特に20歳代後半から30歳代の転出幅が大きい状況となっています。



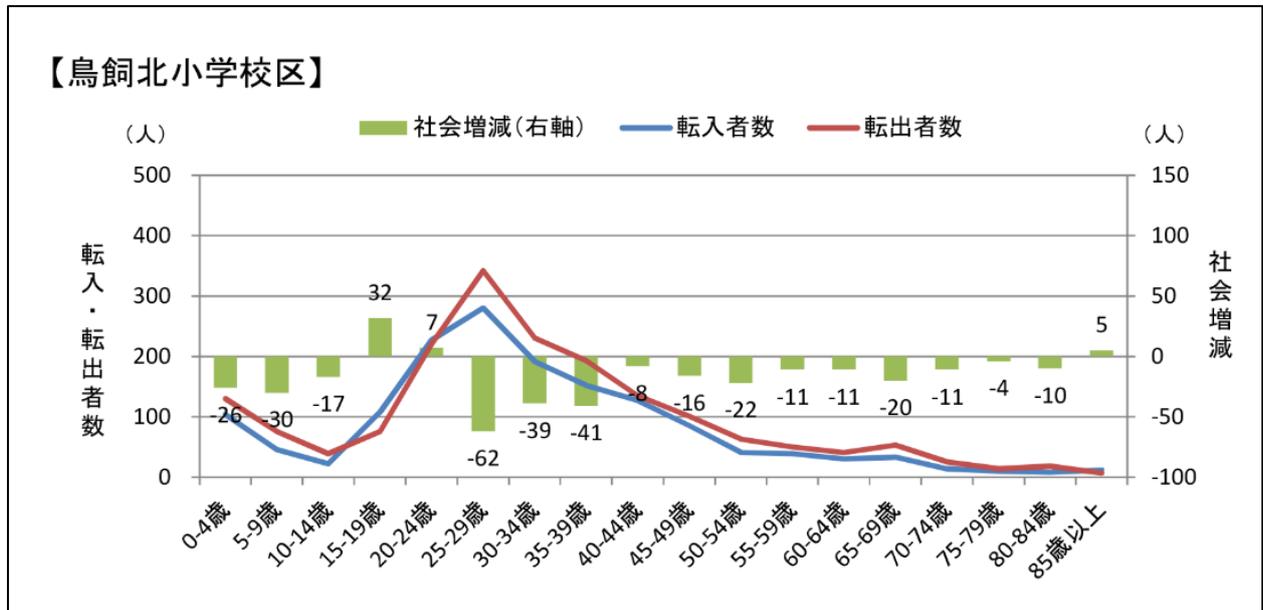
■鳥飼西小学校区

20歳代は転入超過ですが、30歳代の転出幅が他小学校区と比べて比較的大きい状況です。



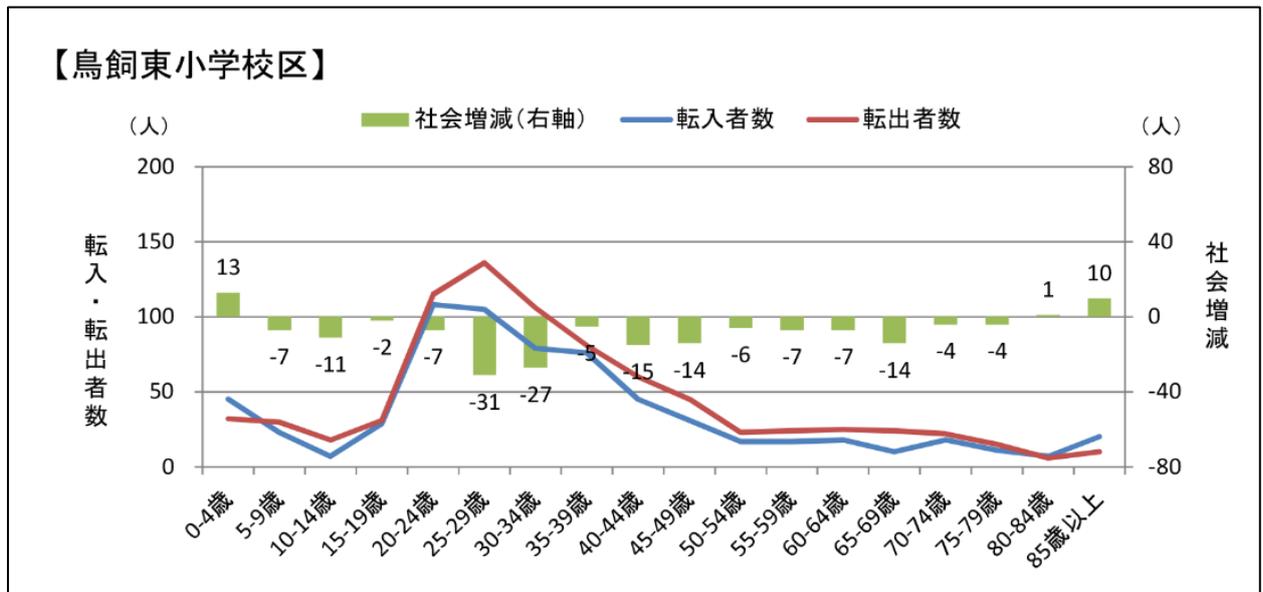
■鳥飼北小学校区

特に 20 歳代後半から 30 歳代の転出幅が大きい状況です。



■鳥飼東小学校区

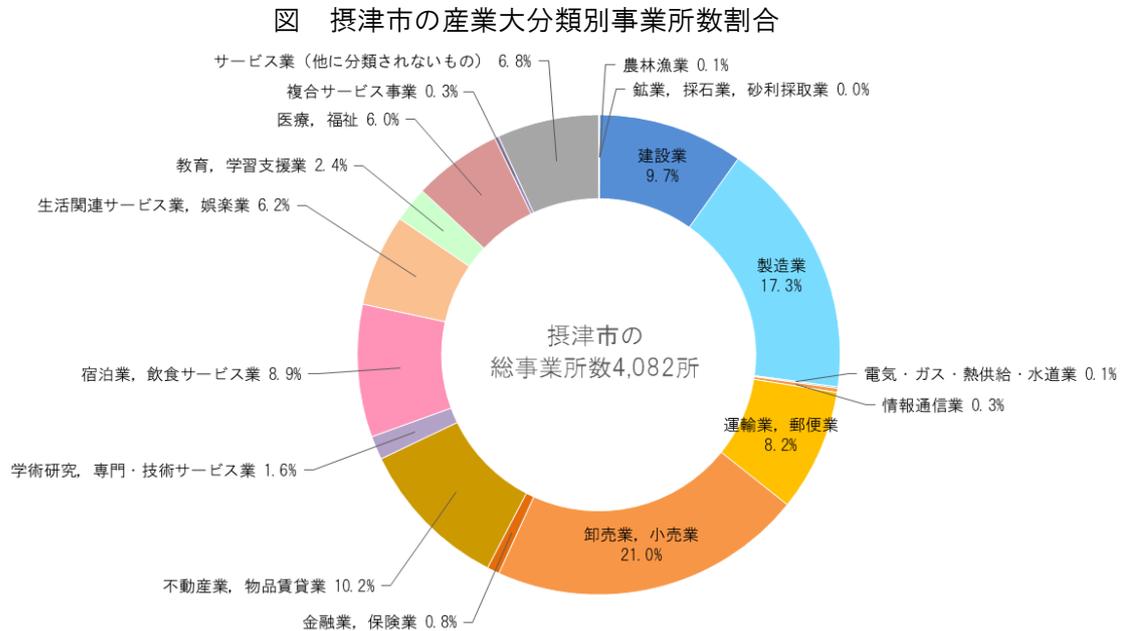
5～79 歳までは全て転出超過であり、特に 25～34 歳で転出幅が大きい状況です。



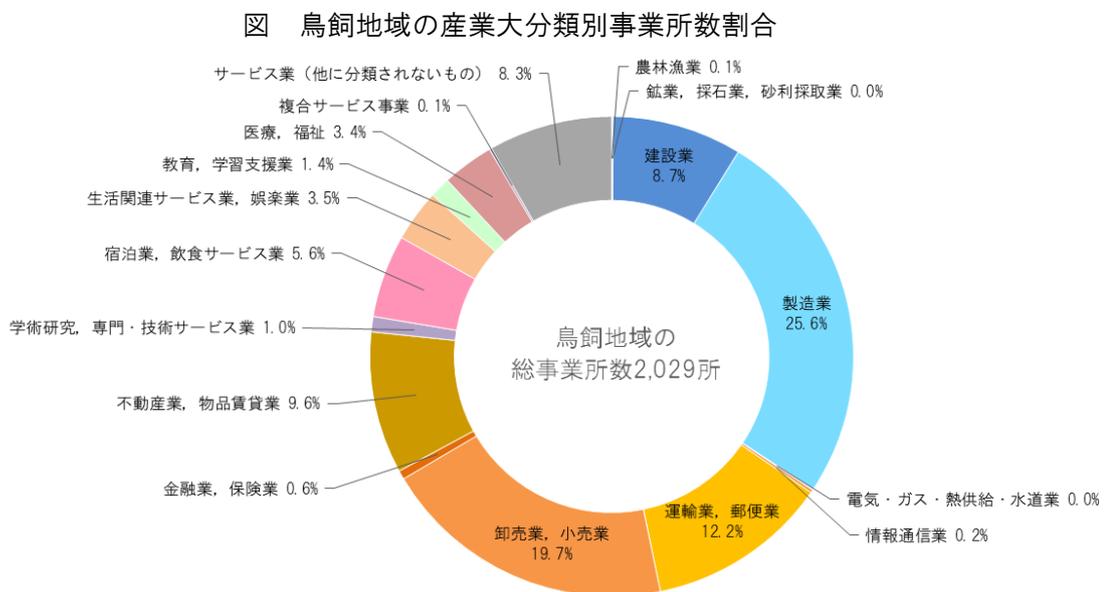
出典：摂津市「2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書」

(2) 産業

鳥飼地域の産業について、産業大分類別にみると摂津市全域の割合よりも製造業及び運輸業・郵便業が多く占めています。



資料：平成28年度経済センサス活動表 町丁別事業所数及び従業者数



資料：平成28年度経済センサス活動表 町丁別事業所数及び従業者数

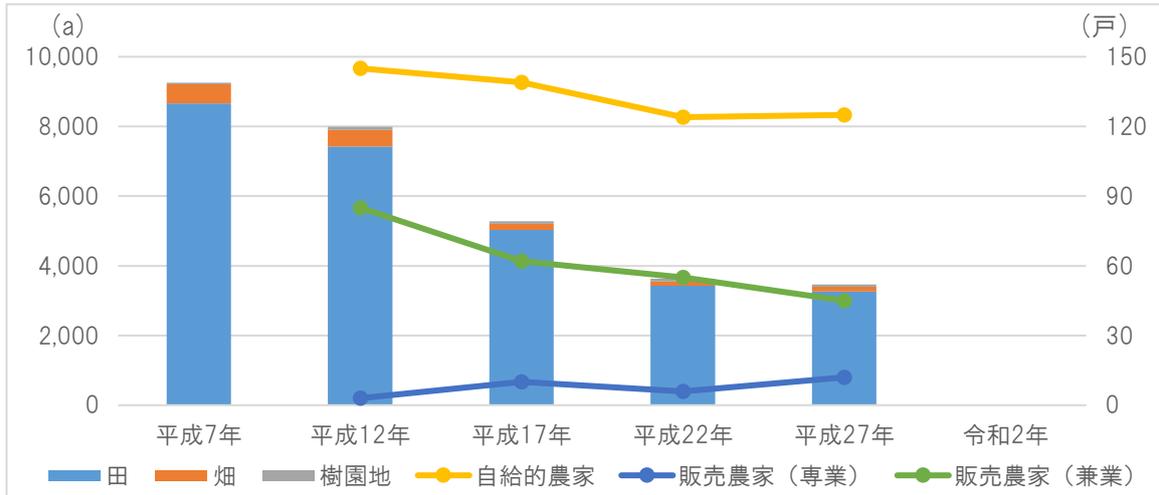
①農業

鳥飼地域には、鳥飼八町にまとまった田園が広がるほか、地域内に小規模な田畑が点在しています。

摂津市全体の専業農家数はほぼ横ばいですが、兼業農家数は近年減少傾向にあり、経営耕地面積も減少しています。

表 摂津市の専業兼業別農家数及び経営耕地面積

(各年2月1日)



項目		平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
農家数 ※1	総数(戸)	286	233	211	185	182	公表され次第、 記載予定
	自給的農家※2	-	145	139	124	125	
	販売農家※3	-	88	72	61	57	
	専業※4	4	3	10	6	12	
	兼業※5	282	85	62	55	45	
経営耕地 面積 ※6	総面積(a)	9,260	7,991	5,276	3,627	3,463	
	田	8,658	7,420	5,030	3,430	3,261	
	畑	550	476	179	122	137	
	樹園地	52	95	67	75	65	

資料：大阪府統計年鑑、農林業センサス、世界農林業センサス

注：平成7年以前は全農家を対象に専業兼業農家数を調査したものであり、平成12年以降は、全農家のうち販売農家を対象に専業兼業別農家数を調査したものの。

※1 農家とは、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても、調査期日の前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。

※2 経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

※3 経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家。

※4 世帯員中に兼業従事者が1人もいない農家。

※5 世帯員中に兼業従事者が1人以上いる農家。なお、平成2年以降は、農作業請負を兼業に含まない。

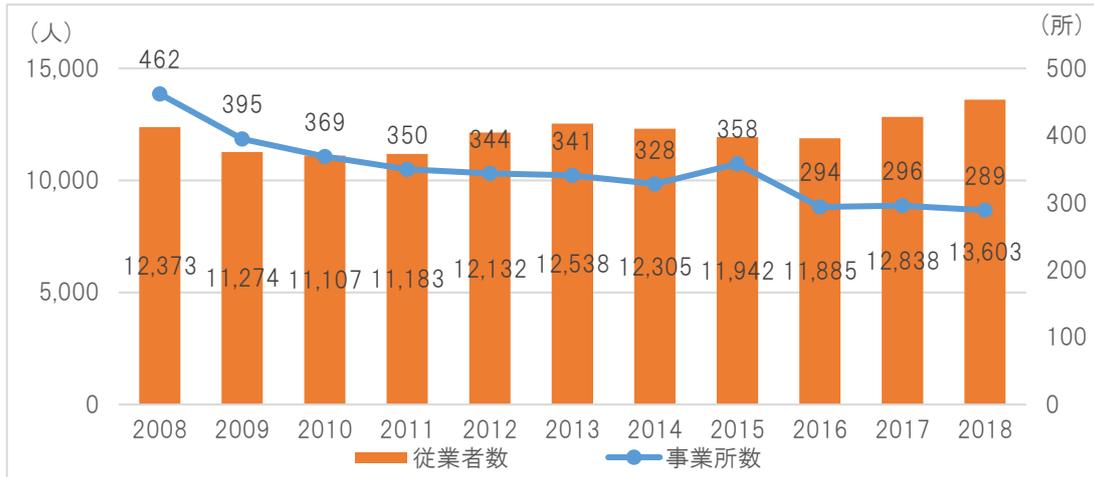
※6 販売農家の経営耕地面積である。平成17年は田、畑、樹園地の各個別調査は行っていない。

②工業

鳥飼地域には、摂津市の製造業の事業所のうち、約7割が立地しており、カネカ大阪工場をはじめとした化学工場のほか、金属やプラスチックの加工工場や電子部品製造工場などが集積しています。

摂津市の製造業の事業所数及び従業員数（従業者数4人以上の事業所数と従業員数）に関しては、事業所数は年々減少傾向であるものの、従業員数は増加傾向にあります。

図表 摂津市の製造業の事業所数及び従業員数の推移



資料：工業統計地域別統計表

注：従業者数4人以上の事業所数と従業員数

また、摂津市の製造品出荷額等の推移については、概ね横ばいの傾向です。

図表 摂津市の製造品出荷額等の推移

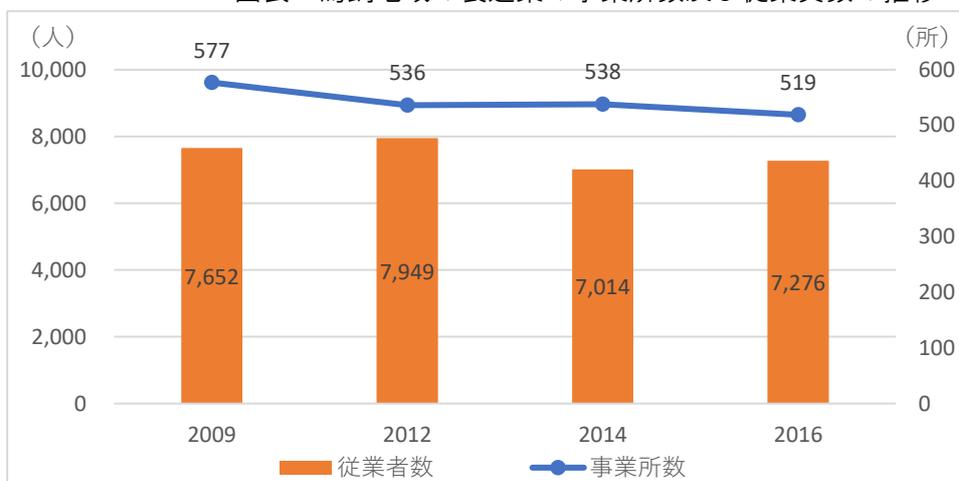


資料：工業統計地域別統計表

注：従業者数4人以上の事業所の製造品出荷額等

なお、経済センサスによると、鳥飼地域の製造業の事業所数・従業員数は共に減少傾向にあります。

図表 鳥飼地域の製造業の事業所数及び従業員数の推移



資料：摂津市統計要覧 町丁別事業所数及び従業員数より鳥飼地域内の値を抜粋

2009；平成 21 年 7 月 1 日 平成 21 年経済センサス—基礎調査

2012；平成 24 年 2 月 1 日 平成 24 年経済センサス—活動調査

2014；平成 26 年 7 月 1 日 平成 26 年経済センサス—基礎調査

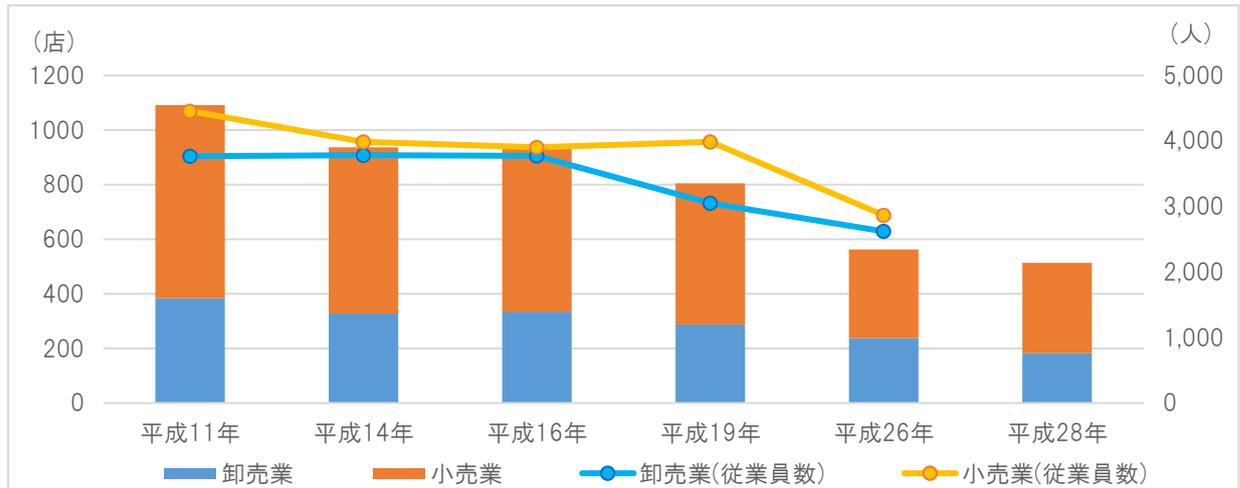
2016；平成 28 年 6 月 1 日 平成 28 年経済センサス—活動調査

③商業

鳥飼地域には、とりかい商店街や府道大阪高槻線沿いに大型小売店舗が2か所立地しています。また、鳥飼銘木町に昭和41年に高度経済成長に伴い大阪横堀から移転した銘木市場を中心とした銘木・建材の一大集散地が立地しています。

摂津市全体の卸売業及び小売業の店舗数、従業員数は年々減少しています。

表 摂津市の産業分類小分類別の事業所数及び従業者数、年間商品販売額、売場面積(小売業)の推移



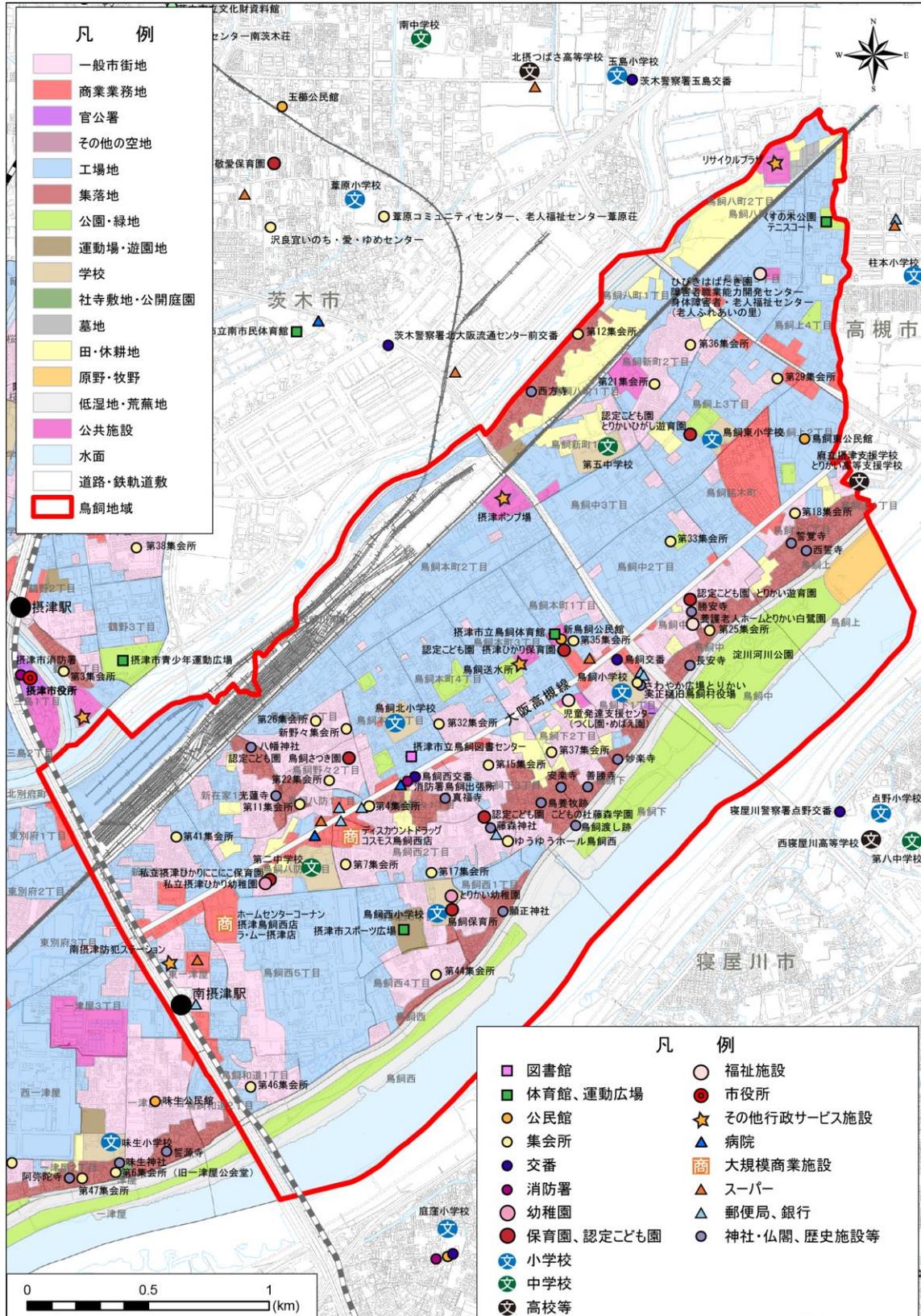
産業分類	項目	平成11年 (1999年)	平成14年 (2002年)	平成16年 (2004年)	平成19年 (2007年)	平成26年 (2014年)	平成28年 (2016年)
卸売業	商店数(店)	384	327	335	288	238	182
	従業員数(人)	3,769	3,783	3,772	3,050	2,620	-
	年間販売額(百万円)	355,533	259,632	240,143	211,135	299,374	-
小売業	商店数(店)	707	610	598	517	325	331
	従業員数(人)	4,456	3,986	3,905	3,985	2,867	-
	年間販売額(百万円)	69,896	64,328	62,318	78,803	55,437	-
	売場面積(m ²)	50,565	54,972	53,597	55,497	47,674	-
総数	商店数(店)	1,091	937	933	805	563	513
	従業員数(人)	8,225	7,769	7,677	7,035	5,487	-
	年間販売額(百万円)	425,430	323,960	302,461	289,939	354,811	-

資料：商業統計調査結果(平成11年、平成14年、平成16年、平成19年、平成26年)
経済センサス - 活動調査結果(平成28年)

(3) 周辺施設立地状況

府道大阪高槻線沿道を中心にコーナン摂津鳥飼西店やラ・ムー摂津店をはじめ、商業施設等の立地が進んでいます。府道大阪高槻線以北は、一部の市街地を除き工場や事業所が建ち並んでおり、府道大阪高槻線以南は、一般市街地や集落地が広がり、公共施設等も多く立地しています。

図 鳥飼地域の土地利用現況と立地施設

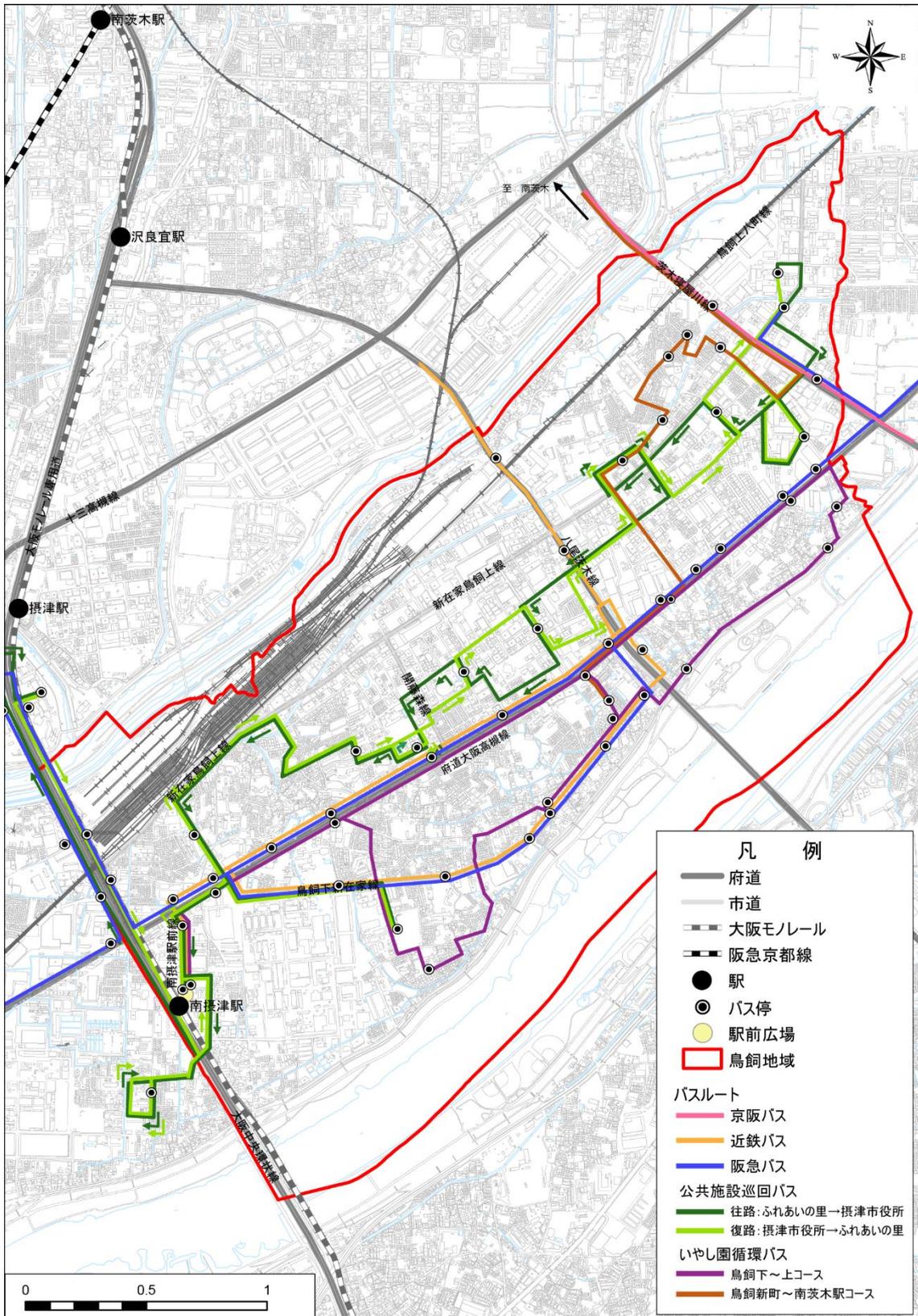


(4) 公共交通等

鳥飼地域内の西端に大阪モノレールが通っており、南摂津駅が設置されています。

民間路線バス（3社：京阪、近鉄、阪急）や公共施設巡回バス（セッピー号）等のバス路線がありますが、府道大阪高槻線の渋滞等により定時性の確保が課題の一つとなっています。

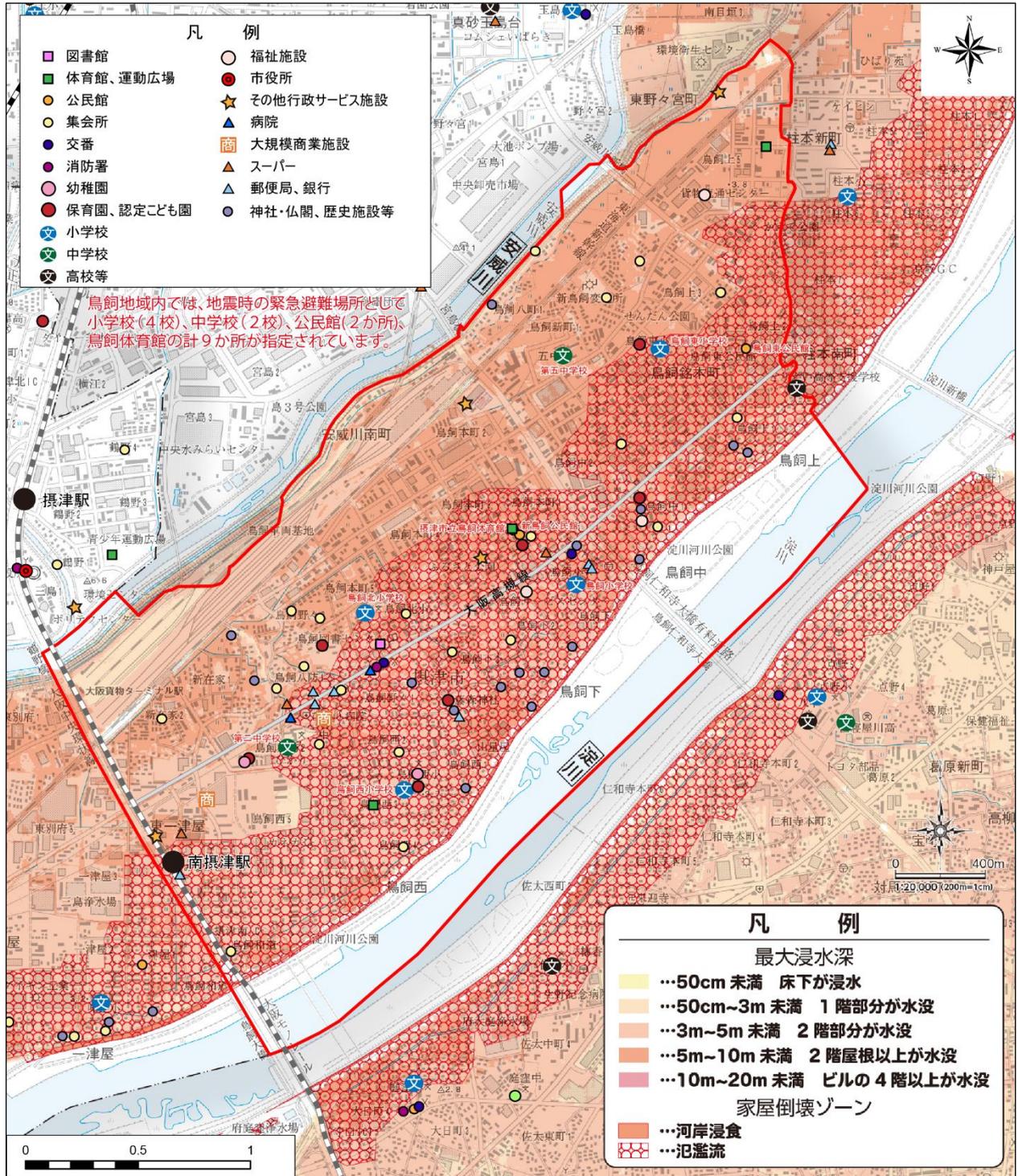
図 鳥飼地域の公共交通網



(5) 防災

鳥飼地域は全域が3 m以上（淀川氾濫時：1000年に一度の確率の降水量）の浸水想定エリアが広がっています。特に、府道大阪高槻線以北は、ほとんどが浸水想定5 m～10m未満のエリアとなっています。

図 鳥飼地域の淀川水系浸水想定（最大規模）



(6) 地価

鳥飼地域の公示地価の動向をみると、府道大阪高槻線以北の工業地で地価が近年上昇傾向にあります。

府道大阪高槻線以南では、大阪モノレール南摂津駅付近の東一津屋を除き平成31年は前年より1,000円/㎡下落していますが、翌年令和2年には地価の変動は見られません。

図 鳥飼地域の公示地価の動向

